

～環境にやさしい地下鉄を目指して～

「みんなでECO.東京メトロ・エコプロジェクト」が始動します

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、環境にやさしい地下鉄を目指した様々な取組みを「みんなでECO.東京メトロ・エコプロジェクト」として展開していきます。

鉄道は、多くのお客様を一度に輸送できる環境にやさしい交通機関ですが、安全・便利にご利用いただくため高頻度での運行、ホームドア、エスカレーター等の運転には多くの電力を消費しています。

このため東京メトロでは、環境配慮型車両やLED照明、自動運転装置付きエスカレーターなどエネルギー消費が少ない機器を導入し環境負荷の低減に努めています。

また、自然エネルギーの活用として太陽光発電システム、膜屋根による自然採光など、さまざまな場所で「エコ」を感じられる取組みを進めています。

「みんなでECO.東京メトロ・エコプロジェクト」は、これまでの取組みを結集した「環境配慮型駅」へのリニューアルなど、環境負荷の低減及び自然エネルギー活用を当社の環境保全活動の中心に据え、より積極的に展開を図っていくものです。

具体的な取組みは、別紙のとおりです。



今後進めていく取組みをポスター等でご紹介していきます。



【環境保全の取組例】

環境配慮型車両



大幅な省エネルギー化を実現するVVVFインバーター制御装置や電力回生ブレーキ、永久磁石同期モータ（PMSM）※等を搭載した環境配慮型車両を導入します。

平成24年度は、4月11日にデビューした銀座線1000系に加え、千代田線に16000系を2編成導入する予定です。

なお、銀座線1000系には、前照灯及び車内灯にLED照明を導入しています。

※ PMSM：回転子に永久磁石を採用し、外側の電磁石と引き合せて回転するためエネルギー効率が向上、構造上発熱が抑えられことで密閉構造とすることで低騒音化とメンテナンスの軽減がされたモータ

LED照明



今年2月の田原町駅を皮切りに、消費電力量を約40%削減し省エネルギーに貢献するLED照明を、順次駅構内に導入していきます。

平成24年度は荻窪駅、東銀座駅、八丁堀駅、浦安駅、赤羽岩淵駅に導入します。

太陽光発電システム



自然エネルギーのさらなる活用を推進するため、地上駅に太陽光発電システムを導入していきます。

すでに設置されている北綾瀬、南行徳の両駅に加え、平成24年度は、東西線の6駅に設置します。

東西線浦安駅・環境配慮型駅へのリニューアル



環境配慮型の駅としてリニューアル工事を実施します。

《太陽光発電システム》 駅ホームの屋根上及び駅建物の外壁に設置（最大容量約50kW）

《膜屋根》 駅ホームに自然採光の膜屋根を設置（採光状態により照明をコントロール）

《LED照明機器》 駅コンコース、ホーム、待合室等の照明、駅構内のサインシステム

《駅の緑化》 駅南口の壁面を緑化

※これらの施策については現段階での予定であり、今後予告なく内容・工期の変更、または中止となる可能性があります。